



TITLE:

ロシアの新プラネタリウム

AUTHOR(S):

CITATION:

ロシアの新プラネタリウム. 天界 1935, 15(166): 154-154

ISSUE DATE:

1935-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/166954>

RIGHT:

ロシアの新ブラネタリウム

ドイツのツアイス會社が1925年頃から多くのブラネタリウムといふ装置を作つた。尤も「ブラネタリウム」といふ名は昔しから天文學にはあるもので、其の名の如く、天空中の諸遊星の運行を模したものを意味する器械を言ふのであるが、上記のツアイスの作品は、多くの幻燈畫を組み合はせて、圓い天井に見たまゝの天空現象の移り行く有様を如實に表はすものである。今日までに既に獨國には10ヶ所ばかり、ロシアにはモスコウ市、イタリヤにはローマ市、オーストリアにはザン市、米國にはシカゴとフィラデルフィヤと ニューヨーク市(之れは目下製作中等)に作られてある。

ところが最近報によると、ロシアでは Loms といふ會社がレニングラード市内に新しいブラネタリウムを作る計畫であるさうなが、之れはツアイス製のものより更に精巧なもので、約二萬の部分より成り、星々のまたたき (twinkling) をも表はす仕掛けであるといふ。

ブラジルだより

拜啓 (前文略) 八月より流星觀測を開始しました、今月の獅子座流星群を楽しみにして居ます。

今當地は正に焦熱地獄宛らです。水銀は三十五六度。昨日は遂に三十八度まで上り最近のレコードを作りました。十二月一日頃の暑さが今から思ひやられます。雨期だと云ふのに雨が少なく、ブラジルでも百姓は青息きです。それに原始林に圍まれた當地は、ブト、蛾等の小虫が多く、夜觀測中ランプを慕つて來るのは全く閉口します。

今當地の星空は西南には「サソリ」が淋しく、天頂附近にはホマルホ「ト」鯨の β 等、東には、「エリダン」、九時過ぎには、「オリオン」、プレヤデス等が上つて來ます。北東低く、「カシオペヤ」が顔を出し、續いて「ペルセウス」駁者が出て來ます。南の方は「センタウル」、 α , β も最早地平の霞の爲めに見えず、アケルナは充分高くなりました。八時半頃老人星が出ます。(後略) 敬具

十一月六日

ブラジル 會員 武田 江